

三重支所会報

Architectural Institute of Japan



2007年2月発行
(社)日本建築学会東海支部三重支所
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
三重大学大学院工学研究科建築学専攻内
TEL 059-231-9666 FAX 059-231-9452

■ご挨拶

会員の皆様には、日頃より支所の活動・運営にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月の総会に始まり、2006年度は講演会2回・ミニ講演会2件と見学会2回を開催することができました。振り返ると本年度の実施内容を貫くテーマは「時代」であったかと思えます。

見学会は、三重県の名建築である志摩観光ホテルと、新しい行政庁舎である鈴鹿市新庁舎と津市芸濃総合支所を対象とし実施しました。志摩観光ホテルは昭和26年築の東館に始まり、数度の増築を経て現在の威容を誇っていますが、新ニーズ創造と企業戦略のもとに新しいタイプのリゾートホテルに生まれ変わろうとしています。両行政庁舎は空間アメニティへのニーズや市町村合併等の時代の流れに応えた新技術と工夫の集積でした。

講演会については、曾根幸一氏からは2004年に制定の景観法を踏まえ、景観と街との関わりを時間軸に沿って解説いただきました。野原文男氏からは今日的課題であるエコロジーの視点から、最新の省エネルギー技術と建築デザインを融合した実作を、我が国の伝統的な「かたち」を引用しながら紹介いただきました。いずれも強く興味を引かれる密度の濃い内容でした。

本年度の事業はこれで一応完了しましたが、次年度も時代を映し出す企画を組むと共に、会報やメールマガジンを通じ、情報発信に努めたいと考えます。引き続きよろしくご指導・ご支援をお願い申し上げます。

日本建築学会東海支部三重支所長 高井宏之
(三重大学大学院工学研究科建築学専攻 助教授)

■見学会報告

1. 見学会「志摩観光ホテル」

日時:2006年9月22日(金)14:00-16:30
場所:志摩観光ホテル

村野藤吾先生の作品「志摩観光ホテル」の見学会が開催されました。志摩観光ホテルの山下勝康氏より、ホテル設立の経緯、村野藤吾先生とのやりとりに関するエピソード等が紹介されました。その後、館内、庭園を案内していただきました。参加者は18名でした。



2. 見学会「津市芸濃総合支所・鈴鹿市新庁舎」

日時:2006年11月15日(水)13:30-17:00

場所:津市芸濃総合支所、鈴鹿市新庁舎

津市芸濃総合支所および鈴鹿市新庁舎の見学会が開催されました。芸濃総合支所は旧芸濃町役場として計画された建物で、津市との合併を見越した計画がなされていきました。鈴鹿市新庁舎は、議場、展望ロビー、高層棟執務室、1・2階窓口周り、市民ロビーを見学しました。参加人数は18名でした。



■講演会報告

1. 曾根幸一君 特別講演会「景観法と街の形成」

日時:2006年9月30日(土) 14:00-16:00
場所:三重県総合文化センター・小ホール

近代建築の結晶とも言えるブラジリアについて、スライドを交えながら、その計画の経緯や思想の解説、及びO.ニーマイヤーの作品などの紹介がありました。その後、曾根氏が計画に参画した幕張ベイタウンについて、計画の思想や設計手法が語られました。参加者は140名でした。



2. 野原文男君 講演会「建築環境システムと“かたち”」

日時:2006年12月21日(木) 14:00-16:00
場所:三重大学工学部17番教室

建築設備技術の発展に伴い、建築の形態の地域性が失われ、また建物で消費されるエネルギーが急増してきたことが指摘された。そして、現代の優れた省エネルギー技術に加えて、伝統建築に用いられてきた環境調整技術を現代建築に応用し、大幅な省エネルギーを達成した事例や計画が紹介されました。参加者は110名でした。



■支所活動に関するお問い合わせ

事務局窓口:三重大学工学部建築学科事務室(TEL:059-231-9666)
庶務幹事:北野博亮(三重大学大学院工学研究科建築学専攻)
E-mail: kitano@arch.mie-u.ac.jp